臺灣日日新報
本日四頁
編輯兼發行人 江口滿作
發行所 臺北市榮町四丁目十番地 臺灣日日新報社
本紙定價 一ケ月金壹圓[illegible]
廣告料 [illegible]
振替口座臺北一〇[illegible]
電話 [illegible]

新世界の建設こそ祖國日本の大理想

外相 在外同胞に呼びかく

【東京五日發同盟】松岡外相は五日午後零時半ラヂオを通して世界各地に在留する同胞に呼びかけ内外多難の秋に當り祖國日本の進路と皇國の理想を說き大和民族としての大理想達成に協力せんことを力強く要請した

海外同胞に對する松岡外相放送演說要旨

世界は今西も東も戰爭の眞最中である、この大戰爭の渦中に吾々は紀元二千六百一年の春を迎へた、我が

皇室　の御榮えは歲とともに彌々加はり大內山の松の綠も一入と色を增して見えることは誠に畏多い次第であり一君萬民の有難い皇國に生れ合せた吾々日本人として心からなる御祝詞を取交したい氣持が自然と胸に溢れる、然しながら今は皇國にとつて最も大切な戰爭の最中である、私は新年の祝詞の代りに聊か吾々日本人の覺悟なり心構へに就いて一言したいと思ふ、海外同胞諸君、諸君は諸君の居られる夫々の國、夫々の職業の立場に於いて日本を代表してゐるのである、私は諸君の異邦萬里に於ける貴き活動に對し深く感謝するものである

諸君　は夫々の環境において祖國日本の姿を見る時或は深き憂ひを抱き或は高き誇りと喜びを持つであらう、一體祖國日本は何處へ向つて進んで行きつゝあるのか、又何處へ向けてその進路を進めて行かねばならぬか、其點に就き一言所感を申述べる、先づその前提として世界人類は如何なる狀態にあるのか、それから考へて見よう、春を迎へつゝ誠に不吉な言を爲す樣であるが今年はどうかすると全人類に取つて最も悲慘にして不幸な年になるのではないかと云ふことを竊かに恐れざるを得ない、過去五十年間に

人類　は實に長足の進步を遂げ偉大な發明をしたがその發明になる最も優れた武器を取つて最も恐るべき猛烈な戰爭が行はれてゐる、この上更に人智の限りを盡した新銳なる武器をも使用するに至らば或は現代文明は遂に沒落するのではなからうか、かう云ふ憂ひを抱かざるを得ない、然も其時期は刻々に迫つてゐる、私は唯世界の有識者が直に天を恐れる敬虔な心持を以てこの危機を切拔けるに協力せんことを心から願ふ、この年をして現代文明沒落の第一年とすることなく反對に世界を通じて公正にして恒久なる眞の

平和　の基礎を力強く建設し眞の世界新秩序建設に蘇へる第一年たらしめるやう熱望する、これは獨り私の念願のみではない、實に我が大和民族の衷心よりの念願である、世界人類の功利的な考へ方を淸算し新秩序を確立し總ての國民乃至民族をして各々その所を得しめ自らその運命を開拓し決定しつゝ各々の特質を十二分に發揮し相互に長短相補ひ相互ひに有益有利なる共存共榮の國際的共同生活を營み得る樣な新しい世界を建設しようと云ふのが日本の目差す目的なのである、我が肇國の理想である八紘一宇は正しくこの世界新秩序の

建設　を究極の目的としてこれは實に大和民族の理想たるべきではない、實に全人類の理想でなければならぬ、過般締結された日獨伊同盟條約も實にこの大理想に依るものである、而して先づこれを大東亞圈內に於て實現し諸民族諸國民をして各々其の所を得しむる新秩序を造りたいといふのが我が大和民族の念願であつて大東亞圈內にある諸民族にこの精神と理念を諒解して貰つて協力して戴きたいのである、無論斯かる大事業は我々一代で出來るものではない、孫子の時代に其完成を求めなければならぬが然し努めて倦まざれば長くとも五十年後には

世界　が我が民族の言明せる理想の決して虛言でないことを認めるに至るであらう、八紘一宇は空念佛ではない、日獨伊三國同盟條約の條文にもこれを明記してあり將來皇國日本の外交はこの大理想を基として行はれるものであることを全人類に向つてはつきりとさせたのである、海外に在留せられる同胞諸君においても何卒諸君の祖國のこの傳統的精神である人類大同の大理念を堅く把持しつゝその居られる各國民と相和し又各國民の一部となられた諸君は其の國に忠誠を盡しつゝ然も祖國の大理想實現に御協力あらんことを希望する

皇太后陛下御參內

新年の御祝詞を御交換

【東京五日發同盟】大宮御所に御目出度く新春を迎へさせられた

皇太后陛下には新年宴會の由き日五日午前十一時十五分御所御出門、宮城に御參內あらせられ大奧にて

天皇、皇后兩陛下と御對顏、新年の御祝詞を交させられ

三陛下御揃ひにて午餐を召させられたが新春を壽がせられての御團欒いと御和やかに拜された由にて

皇太后陛下には午後三時四十五分宮城御出門、御機嫌麗はしく還啓遊ばされた、尚この日群臣と御喜びをともにせらるる宮中御盛宴並びに有位華族への祝酒下賜は時局下前年同樣御取止め遊ばされた

現地軍・戰捷の新春壽ぐ（寫眞は西尾支那派遣軍總司令官以下の宮城遙拜）

野村大使、本多大使と會見（北支視察中の野村大使は一日南京大使館に本多大使を訪問本多大使（右）と挨拶を交した）

重光駐英大使イ外相を訪問

【ロンドン四日發同盟】重光駐英大使は三日午後三時二十分イーデン外相を訪問したが同大使の外相訪問はイーデン氏の外相就任以來最初のもので新外相との挨拶の交換程度で會見を終つたものと云はれる

ソ聯の樞軸國援助

米朝野多大の反響

ダイズ委員會發表

【ワシントン四日發同盟】米下院ダイズ委員會（非アメリカ運動調査委員會）は三日議會に對し過去二年間の同委員會の活動に關する報告を提出したがこれと同時にソ聯の對樞軸國援助に關するステートメントを發表、ソ聯の在米金融機關が對獨財政援助に大きな役割を演じてゐると大要次の如く述べてゐる

一、ソ聯はアメリカで全體主義國のために大きな經濟的活動をなしつゝある

一、ソ聯が米國にある各種の金融經濟機關を通して樞軸國に對して與へた財政援助活動は米國が英國に與へた經濟援助よりも遙かに大きい

一、ソ聯中央銀行がニューヨークにある一銀行を通してドイツ、ライヒス、バンクに口座替へした額のみでも過去二ケ月間に千五百萬弗の巨額に達しその他の諸銀行を通じて行はれた資金の移動は驚くべき額に上るものと見られる

一、ソ聯政府が米國における其の地位を利用して斯る活動をなしつゝあるのは日獨伊三國政府との協定に依るものと見られる

以上はまだ擬備的調査の範圍を出でないが委員會は近く完全なる調査を得た上で適確な具體的證據を發表する筈である

而してこの聲明は恰もドールトン英經濟戰相が米棉其他重要品のソ聯經由對獨輸出に關して英國政府は深甚な關心を寄せてゐると語つたのと時を同じくして發表されたため各方面に多大の反響を與へ米國の對英援助の積極化と共に今後米國政界に重大問題化する可能性ありとされてゐる

米の棉花、屑ゴム等

ソ聯經由獨へ流入

【ロンドン三日發同盟】ドールトン英經濟戰相は三日對獨經濟封鎖の現狀を發表したが右發表中大量の棉花、屑ゴム等が米國から浦鹽に向けて輸出されソ聯を通してドイツに入つてゐる、棉花は強力爆藥の製造に使用され屑ゴムは人造ゴムの製造のために必要とされるのであるとソ聯の對獨援助を指摘し暗に米國側の意嚮を要望して注目を惹いた

全米平和運動

【ワシントン四日發同盟】援英反對の急先鋒民主黨選出ホイラー上院議員は四日「全米平和運動」の代表と會見し席上ルーズベルト大統領の對英武器供與計畫を徹底的に非難し

或人は英國の戰爭は我々の戰爭であると言つてゐるが若しさうならば勿論吾々は海を越えて限りなく勇氣を持たねばならない、然しこれは我々の戰爭ではないのだ、諸君は飽くまでも民主主義擁護のため勇氣を持つべきである

とこれら代表を激勵し、これに對し右代表もホイラー議員に千二百萬餘の人々が平和を擁護せんとして居り米國市民はホイラー議員の平和に對する努力を多として居る旨を述べた、因に全米平和運動は勞働者、青年、黑人團體並に農民協會聯盟等廣汎な各層より成つてゐるものと言はれる

米議會愈よ活動

ル大統領自ら教書朗讀

【ワシントン四日發同盟】米國の第七十七回議會の本格的活動は來る六日恒例のルーズベルト大統領の年次教書發表と共に開始されるが四日米政府當局はルーズベルト大統領は來る六日午後一時自ら議會に乘込んで年次教書を讀み上げる旨發表した、從來年頭の一般教書は文書を以て發表するのが慣習であつたが今回特に大統領自ら議會においてこれを讀み上げることになつたことは今年の年次教書をルーズベルト大統領自身如何に重大視してゐるかを示すものとしてその內容と共に注目されてゐる

米海軍艦艇の防空裝備增强

【ワシントン三日發同盟】ヴインソン下院海軍委員長は三日米海軍艦艇の防空裝備增强の爲め三億弗の支出を許可する法案を議會に提出せる旨發表した

勃國王訪獨

【ソフイア四日發同盟】ブルガリア國王ボリス三世は三日ドイツへ向けソフイアを出發した、ボリス三世の訪獨は現在ウイーン附近に隱棲中の父君たる前國王フエルヂナンド一世と會見するためと傳へられてゐるが目下訪獨中のフイロフ・ブルガリア首相と落合ひ同首相と獨當局との會見に加はるのではないかとも見られてゐる、因にウイーンより報道に依ればフイロフ首相は既に四日ウイーンを出發、ザルツブルグに向つた

獨機大擧ブリストルを爆擊

【ロンドン四日發同盟】暮から新年にかけロンドンを襲擊した獨空軍隊は三日夜英國南東海岸の港市ブリストルに大擧來襲、四日未明にかけ間斷なく炸裂彈、燒夷彈を投下し多數の建築物を發火せしめた、全市は火焰に包まれ死傷者相當多數を生じた模樣である

獨軍司令部發表

【ベルリン四日發同盟】獨軍司令部四日發表

一、惡天候を冒して獨空軍は三日偵察飛行において多大の戰果を收めイングランド東南部にかけての飛行場を連續的に攻擊した

一、三日夜獨爆擊機大編隊はブリストル港市を爆擊、多數の爆彈を投下し火災並びに大爆發を惹起した

一、一方英國南部の重要地點を猛爆擊した

一、敵空軍は三日夜北ドイツの四ケ所に來襲、主として住宅地區に燒夷彈を投下、若干の火災を生ぜしめたが軍事上にも生產活動にも大した打擊はなかつた

一、敵機の擊墜されたもの二、我方の損失一

誓ひ固し日獨兩外相

年頭のメッセーヂ交換

最終的勝利の確保へ

【東京四日發同盟】日獨同盟成立第一年目の年頭に當り松岡外相はリッペントロップ獨外相に宛てメッセーヂを送りこれに對しリッペントロップ獨外相は松岡外相に寄せたので外務省は四日午後左の如く發表した

松岡外相は新年に當りリッペントロップ獨外相に對し次のメッセーヂを送つた

余は日獨兩國民が三國同盟に依り顯現されたる理想達成の爲め新年と共にその決意を新たにし益々協力の實を擧げん事を確信し茲に貴國民が愈々勇敢にして光輝ある戰果を收めん事を祈る

これに對しリッペントロップ外相は松岡外相に對し次の如き返電を寄せた

余は三國條約に依つて嚴肅に確立されたる樞軸國獨伊と英雄的日本國民との友誼と協力とが本年中には我等の事業の最終的勝利を確保し、より良く正しき世界新秩序を具現するに至る可きを確信す

米・ソはどう動く？

海軍少將　東亞建設協會常務理事　關根郡平

昨秋アメリカ政府からイギリス政府に對して「イギリス政府が、本土を退去しなくてはならなくなつた場合に、艦隊をドイツ側に引渡したり、又は自沈したりすることなく、ソックリ其の儘アメリカに持つて來てくれ」と云ふ照會をやつたことがあるが、之はイギリス政府がカナダ落でもしなくてはならなくなつた場合に、アメリカが如何なる態度に出るかと云ふことを示唆するものと謂はねばならぬ

アメリカ　政府としては、第一に、イギリス政府がカナダに落ちて來て「モンロー主義の適用範圍たる南北アメリカが戰爭の渦中に捲き込まれた」と云ふ觀念をアメリカ人に與へ第二にインドから南洋を經て濠洲及びニュージランドに亙る廣汎なるイギリスの領土がアメリカの所有に歸し第三にイギリスの殘存海軍力がアメリカ海軍に加はつて日本に對して正面攻擊を加へ得る海軍力が俄然に出來上り又第四に、シンガポールがアメリカのものとなるならば、愈參戰の決意を固めるであらうが、此の際如何にして獨伊に對して攻勢を取るかと言ふに、大西洋方面に於ては足場もなく、結ぶべき陸軍國も無いから、ヨーロッパ大陸の敵を[illegible]たり、且つ所謂たるところの南米を支配下に置き、獨伊に對して經濟封鎖を加へつつ守勢を取り、之に反して太平洋方面に於ては、自己の生命線なりと見做しつゝある南洋方面を確保しつつ攻勢に出で先づ日本を屈し、それからこれを援助して來たソ支兩國と結んで其の陸軍を利用、獨伊の東部國境から最後の打擊を與へようとして居つたらしいのである、即ち

イギリス　と支那に手を伸ばして、消耗戰を繼續すると云ふ現狀では、所詮勝味を見出すことは出來ないから、イギリスに伸ばした腕は引込め、支那を援助しつつ徐に攻勢に出ると云ふ段取であらうと考へられるのである、然るに今や日獨伊三國同盟が成立した許りでなく、ドイツ側の巧妙なるイギリス本土に對する攻擊作戰の實施に依つてヨーロッパ戰爭を長期化し其の間に何とか勝味を發見せんとする英米側の目論見も、どうやら畫餅に歸しつつあるのではないかと思ふ、即ちアメリカは最も恐れて居た日本に對して挑戰せんかみならず、獨伊から挑戰される危險があると云ふ惡運命に陷つて居るのである、それ故に好むと好まざるとに拘はらず、現狀の儘で對英援助を繼續せざるを得ないであらう、併しながら、アメリカが日本に對して

挑戰する　意志が、絶對にないかと言ふに決してさうではない、蓋し、支那とロシアが日本の勢力を見縊つた如くに、日淸及び日露の戰役が起つたやうに、アメリカが日本を輕視することは絶對にあり得ないとは、保證出來ぬからである、況んや此の際アメリカの運命を決定すべき重要要素たるアメリカの海軍が日本海軍與し易しとなし、既に開戰說を主張しつつある形跡が顯著なるに於てをや、そこでアメリカの對日渡洋作戰は、必ずしも空想ではないと云ふことになるからして、「愈々アメリカの對日渡洋作戰が行はれる場合、アメリカ海軍は何處を通つて日本に攻めて來るか」と云ふ問題を研究するのも强ち徒勞ではあるまい、元來アメリカから日本に攻めて來るには、アメリカの太平洋岸からハワイを經て、日本に直航するのが最近路であるが、それは極めて危險であるからして、成し得れば飛行場の設けてある陸地沿ひに航進するのが、最も安全であると謂はねばならない

陸地沿ひ　に來るとすればアラスカ、アレウト、カムチヤツカを經て千島に迫るか、さもなければ南洋を經て濠洲方面に迫るか二途、其の一を選ばなければならぬ、併しながら、假令無事に進出することが出來ても、一先づ根據地に落ちつかなければ攻勢は取れない、果して然らば根據地は何處かと云ふことになるのであるが、現在アメリカの支配下にあるのはヒリッピン群島以外にはなく、それも設備が極めて不完全であり又餘りにも日本に接近し過ぎて居る憾みがある、そこでシンガポールの存在が此の場合にも重要になつて來るのであつて、途中

日本艦隊　と戰ふことなくして、アメリカ艦隊が其處に到着し得たならば、修理や補給を終へてから、淸新な氣分を以て日本艦隊に挑戰することが出來るであらう、世人は動もすれば此の點に於て、英米兩國の間にシンガポール共同使用問題が持ち上つたかに傳へるかも知れぬが、決してさうでなく、それは實に英米間に前者はヨーロッパを、それから又後者はアジアを見ると云ふ、共同防衞に關する諒解が成立したと思はれる、ワシントン會議當時以來の懸案であつて、對日渡洋作戰に[illegible]存在の理由なりと信ずるところのアメリカが萬一の場合には、シンガポールを使用し得ると言ふ目算なくして、輕々しく太平洋諸島の防備制限に應諾を與へる筈もなく、若し然らずとすれば、特に東經百十度以東と云ふ限界を設けて、當時既に根據地施設に着手して居つたシンガポールを、制限外に置くことは何と言つても不可能になるではないか、果して然りとすれば、アメリカ軍は

南方航路　を採るものと觀なければならぬ、何となれば、北方航路を採つたのでは、シンガポールに向ふと云ふ目的に添はぬことになるからである、最近アメリカが頻りに濠洲に働き掛けたり、ハワイとサモアとの中間に在る諸島——其の中にはイギリスの領土もあるが——其處に空軍根據地を設けたりしたことは、此の問題と深い關係があるのではないかと思ふのであるが、又既にアメリカ本國から喜望峰經由インド洋に進出しても、アメリカ軍は易々とシンガポールに到着することは出來るのである、そこで問題は次に移る、それは外でもないシンガポールに據を据えたアメリカ軍は、果して如何なる作戰に出るかと云ふことであるが、言はずと知れたこと、ビルマ・ルートから蔣介石に對して盛んに軍需品を供給するのみならず、アメリカの空軍を以て、抗日支那軍を支援し積極的に努めると同時に

蘭印から　ヒイリッピンにも手を伸ばし、更に南方から日本に對して攻擊を加へるであらう、斯く觀察すれば「日本は果して如何にすれば良いか」と言ふことは自ら判然すると思ふのであるが、アメリカの態度如何に依つて重大な影響を受けるであらう、併しながら「ソ聯は果して獨伊に背いて英米に傾くであらうか」と言ふに、最近の情勢ではそれはどうやら英米の望みない希望に終りさうに見える、ソ聯は現在獨伊と同盟こそして居らぬが、通り一遍の親善友邦ではなく、假令イギリスに對するアメリカの立場と迄は行かずとも、少くとも之に類似の役割をドイツに對して演じつつあることは確かである、そこで日本に對する態度であるが、日本が獨伊と結ばなかつた時代はいざ知らず、獨伊と同盟した現在に於ては日本と倶に戰ひする理由はないのである、果して然らば

日ソ國交　調整は可能であり、それが出來れば、ソ聯は必然の結果として援蔣を止めれば蔣介石に對する日本の壓迫は、倍加すること必然であるのみならず、彼は獨伊ソ三國から壓迫される事も大いにあり得るからして、アメリカが一層熱烈に蔣介石を援助しても[illegible]蔣介石もさう長くは保つまい、[illegible]のではあるまいか、換言すればアメリカが遙かにシンガポールに進出して、蔣介石を一層積極的に援助しない限り、彼の壁は案外近き將來に於て或は崩れるかも知れぬのである、それ故に吾人は注意を太平及びインドの兩洋の限界を成すスンダ及びマラッカの

兩海峽に　指向しなければならぬ、今や世界の大勢は如何なる國家が先づ兩海峽の支配權を掌握するかに依つて決せんとして居る、世界新秩序の建設が巧く行くかどうかと云ふ問題も、それに依つて決まらうとして居るのである

明年度府豫算三億二千萬圓到達

中嶋財務局長の歸來談

【基隆電話】五日午前十一時半基隆入港の商船高砂丸で歸任した中嶋財務局長は總督府の十六年度豫算につき大要左の如く語つた

約七十日目に歸つて來た、齋藤總務長官はこの船で歸任される筈であつたが連日會議された結果がとうとう三十一日晩に風邪で發熱されたため後便の蓬萊丸で九日に歸任されることになつた、總督府の十六年度豫算總額は大體三億二千万圓に落ち着くだらうが、隨分喧ましく云つたので要求額の目星しいものは殆ど目的を達した、勿論豫算は時局と高度國防國家建設に重點を置いて編成計上したのであるが主なる事業は土地改良水利施設等による米穀增產が五ケ年繼續で總額五千万圓（初年度六百万圓）同基市、花蓮港間の中部橫斷道路一千万圓、同新高港工業地帶及び工業都市建設一千七百萬圓、合成石油工業試驗所工場建設五百萬圓（三ケ年繼續）鐵道停車場改良建設五千萬圓（五ケ年繼續）地下ケーブルの整備九百萬圓、南廻り局營バス開始二百萬圓、金增產施設百六十萬圓、油田開發五十万圓その他臺東港兩港の築港、山林局の設置、學校方面では大學各學科の新設、臺北第四中學、臺中女學校、臺南工業、花蓮港農業、臺東中學など各中等學校の新設である

重慶、マニラにトラック注文

【マニラ三日發同盟】對蔣援助の爲めの英米合作の進行と共に重慶のマニラ經由對支輸送は急激に增加してゐるが新年早々重慶政府交通部マニラ駐在員よりマニラ全市の自動車商に對しトラックの大量注文を發し各方面の注目を惹いてゐる、右は重慶政府の急電に依り滇緬公路に使用されるトラックを急速に補給する目的だと云はれるが注文は當地自動車商殆ど全部に發せられその總計は一千臺に上るものと見られ市中トラック在庫品は一時に拂底を告げる有樣である

既經驗勞務者の職業調査に着手

【東京五日發同盟】厚生省では人的資源の合理的利用を目差して事變以來未經驗工就業前の小學兒童など專ら產業戰士達の能力を調査し各自の特性に應じて夫々所要產業の各部門に振當て若き勞務の動員に多大の效果を擧げて來たが更に本年度を期し工場鑛山に活躍する既經驗勞務者の職業調査に着手し無方針に配置されてゐた一部の勞務者をその能力、經驗、性格、技能に應じて夫々適當な職場に[illegible]しめることになつた、[illegible]

一、[illegible]いては多少な部門と暇な部門が生ずるが手の餘つた職工を手不足の部門に流用することの研究

一、女子代替性の研究

一、效率の研究　職種を變へた場合その職工はどの程度能率を低下するか最大限に能力を發揮させるための職工養成と男女の配置

一、單位製造用に對する適性勞働力の算定

一、國內の職業構成と移動狀況に基いてわが國職業の歷史的變遷を研究し十年の計を樹てる

活躍の獨艦司令官はルクナー伯

【ロンドン二日發同盟】南太平洋方面で活躍中の獨艦に依り擊沈せられた一英商船生存者の報告に依るとこの方面に活躍中の一獨艦司令官は前大戰當時エムデン號と共に太平洋に活躍し武名を馳せたゼーアドラー號の司令官フエリックス・フオン・ルクナー伯と見られる、因にルクナー伯は一九三八年に南太平洋方面の親善訪問を行つてゐる

金門開發會社設立

【廈門支局發】廈門の復興と共に最も脚光を浴びた金門島の開發について過般來種々研究中であつたが今回金門開發會社を設立した、同社は資本金四十萬元（中十萬元は金門公署出資し殘り三十萬元、宏發公司五萬元、殘り十五萬元は金門島の地元民出資）で先づ同島の製鹽業、成分自動車、金門及び小金門間の海上交通、信用組合の設立並に同島生產品の廈門との交易を行ひ以て金門島の積極的開發に乘出すこととなつた、社長には同島公署長王正廉氏、經理に三澤文八氏が當つてゐる、金門島の製鹽事業は最も有望視され現在僅に原始的採取方法を以てしてゐるが過般來總督府森田技師が來島、種々調査研究した結果先づ第一期計畫として大金門二十五甲步、小金門二十三甲步の鹽田を作り第二期には百二十甲步に擴張する計畫で大體第一期計畫進行と共に廈門、金門方面の需要は完全に充たし得る見込であり此の外同島の開發には先づ[illegible]

人事

▲[illegible]

▲田邊利可氏（臺灣パルプ工業支配人）五日來北（鐵道ホテル）

▲曾田作氏（小笠原水產重役）五日來北（日之丸館）

▲原大藏氏（臺東行政省督察室員）外二名五日臺北發上海へ

▲河野俊雄氏（日本アルミ花蓮港建設所副長）五日來北（鐵道ホテル）六日內地へ

▲吉川音氏　三日廣東より來北

▲石山賢吉氏（ダイヤモンド社取締役社長）六日夜十一時南部より歸北（鐵道ホテル）九日沖繩へ

時代が生んだ液體調味料
味のホシ
お台所の刷新！
家庭經濟の實踐は先づ味のホシから
調味料も一元化！
臺灣總代理店 杉原產業株式會社
製造元 東京[illegible] 東邦食品工業株式會社

日本農士學校校長
大政翼賛會常務委員　菅原兵治著
東洋治郷の研究
東洋的農道の指南書
東洋の眼を以て東洋を見よ！
東洋の道を以て東洋を興せ！
傳統を最も濃厚に保持する農村に關する農政に於て特に然りとする。
本書こそは最も優れたる東洋的農政の指南書である。
著者は曩に、十年に亘る思索と行脚を基礎として、東洋哲學に關する總蓄を集大成「農士道」を著し、從來の農村及び農民の指導に眞に［し］て醇なる活指針を與へたが、今回更に其の眼を以て、年來調査蒐集せる治郷各般の事例につき、東洋農政的研究を發表せるものが本書である。
本書こそ、新東亞郷村建設の實際的指針なるを信じて疑はず、敢えて江湖に推薦す
目次概要 [illegible]
菊判上製函入 本文四三〇頁 價三圓五十錢 送・三三

小津さちを著　蘭印風物誌　價二・〇〇 送・一四
柿崎純著　國民性格學　兒童篇　價四・五〇 送・三三
菅原兵治著　農士道　東洋農道の教學　價二・五〇 送・三三

大政翼賛會事務總長伯爵　有馬賴寧閣下題字
大政翼賛會宣傳部本縣出身　中西郷市著
大政翼賛讀本
風見司法大臣の序文より
新體制はいよいよ出發した。わが國運を賭して成遂げなければならぬ大事業であるが、舵を切つたこの船をどこへ漕いで行くか、それは全國民の双肩にかゝつてゐる。吾々は國民の一人として、我骨を碎き、この身を粉にしても君國の爲、民族發展の爲に盡さなくてはならない。では新體制とは如何なるものかと言ふと、それは國民一般にはまだ了解されてゐないやうだ。澤山の新聞雜誌の記事の外に一、二の單行本もあるやうだが新體制の全貌を掴むには帶に短し襷に長しの憾なしとしない。この書の著者中西君は多年朝日新聞社に居り、記者時代私ともよく知合つて居たが、今春同社を辭して以來有馬伯の許にあつて新體制運動推進の爲に働き今度大政翼賛會に入つて活動することになつた。それを機に記者らしい勘で夏以來集めた情報と新體制運動の動向、自己の所見等を纏めたものがこれである。一讀して新體制の何たるかを手短かに要領よく、しかも肩が凝らず、だが力強く知ることが出來る。その點他の解説書が、飾窓の中の御馳走を一通り見るだけの感じしかないのに對し、この書はその御馳走をお膳に並べて喰はせ、甘い辛いを味はゝしてくれる氣がする。時節柄國民として是非一讀すべき書だと思ふ。
菊判美裝　價一圓　送十四錢
東京・神田・駿河台
振替東京七三二八
刀江書院

米國と戰爭

新春に募る不安

歐洲戰の波紋は擴大する

【同盟ワシントン支局河上特派員】米國は無樣にも擦り切れて綻の表はれた「中立」の古外套を纏うたまま一九四一年新春を迎へた。だがしかし、今後、次々に起る時勢の變化は、何時米國からその古外套をぬがせるか知れない。そして歐洲戰の渦中に飛び込み、正眞正銘の交戰國となることを餘儀なくさせる時節の到來は、米國自身、十分に覺悟してゐるのである。米國民は、過去百二十五年の歷史において今日ほど痛切に「戰爭」を、身近に感じつつ新春を迎へた經驗は、ザラにはなかつた。今度の歐洲戰亂も、一九四〇年一月には、米國民にとつては對岸の火事位にしか、見えなかつたのだ。それが今では事實上、大西洋側の米國の門口まで迫つて來てゐるのだ。一年前、今次の戰爭は、一般米國民の眼に一種の、「擬似戰」位にしか見えなかつた。即ち、ドイツと民主主義國はそれぞれ陣容を整へ、難攻不落の要塞線を挾んで相對峙し、雙方睨み合つて動かず、彼我の空軍は、爆彈の代りに、宣傳用のパンフレットを投下する程度に過ぎなかつたからだ。そして米國民はドイツ側に勝ち目があらう等とは考へてゐなかつた。恐らく英佛は、マヂノ線で獨軍を窮地に陷れ、結局、海軍力と、封鎖作戰によつてドイツを屈服せしめ得ると、想像してゐたのである。さうした確信から、米國民自體は一向に危險を感ぜず、單に利己的見地から、英佛聯合側に同情を表明すること、そして民主々義の各國へ兵器彈藥を、それも、

現金取引 で賣りつけること、等々が彼等の仕事であつた。その爲兵器の供給に必要な軍需工業の能率を高めることに拍車をかけるのでもなく、アメリカ自國の防備を適當に助長することにすら甚しく熱意を缺いでゐたのである

ところが何ぞ知らん、ドイツ軍はベルギー、オランダに侵入してマジノ線を突破して北フランスを蹂躪し、遂にフランスを全面的に降伏せしめた。ここに至つて米國民は、勝誇つたヒトラーの軍隊と米國との間には、辛うじて英國だけが頑張つてゐる事實を目擊した。そしてこの場合英國の力で、なんとか獨軍を喰止めてくれなければ米國は、その太平洋を足場とする「一洋艦隊」と、單なる外見だけの陸軍と、それに全體的に貧弱な空軍を擁して、甚だしく惨めな狀態に陷るであらうといふことに、始めて氣がついたのである。そこで米國が、最初に考へついたのはこの際、米本土及び

西半球の 防備に力を注ぐことであつた。そして議會は、米國の戰爭を豫想し懸念しながらも、國防豫算百億ドル以上の新記錄をつくり、艦艇七百三十五隻から成る太平、大西洋兩洋艦隊の建造と、百二十萬の大陸軍建設を決定し、特に米國史上、最初の平時における強制徵兵制度の實施と、國防工業に馬力をかけるため、緊急手段に出たのである。その間、ルーズベルト大統領は、西半球の防備を強化するため、カナダと共同防衞を策し他方、ハル國務長官はハヴアナにおいて汎米各國が國土防衞のため相提携することの必要を力說し、殊にドイツが、南米大陸における歐洲戰敗國の領土に足場をつくることを阻止する手段を講じたのであつた。そして結局、ナチ軍の大西洋進出に備へる目的から英國が西半球の屬領八ヶ所の租借を米國に供與する代り、米は英に驅逐艦五十隻を提供するといふ一種の國防取引が行はれることになつたのである。如上の取引には、要するに英國の、危かつしい抵抗力に油を注ぎ、出來るだけ長持ちさせて置いて、その間に自國の軍備を强化しようといふ

米國一流 の欲望の伴つてゐた事情を見逃すわけには行かない、即ち、英國が侵入者を一日喰ひ止めれば、米國にとつてはドイツの最終的勝利の結果に處するための準備に、同じく一日だけの餘裕が生じることになるのである。ところが英國は、豫想以上の頑張りを見せたので、大統領を初めとして、米國の政治家連はすつかり氣を好くし、此分ならば、英國に對して、更に多くの物質的援助を與へる方針を進めても差支へないといふ結論に達した。そこで米國に駐在する英國の購買委員等は、軍用機その他軍需品の一層莫大な注文を許された。結局、英國は米國の軍需品工場で、現在生産されてゐる兵器彈藥の半分を引取つても宜しいといふことになつたのである

一九四〇 年十一月までに英國に對して實際に引渡された軍用機の數は、月に五百臺位と稱せられてゐるが、今後米國の諸工場が、それぞれその製造能力を擴張し、新工場が作業を始めることになると、引渡される數量は飛躍的に增加するものと思はれる。現在英國は合計二萬六千臺の軍用機を米國に註文してゐるから、それが二年間で果されるとすれば、その引渡しの數量は少くとも今までの倍以上になるわけだ。これはアメリカにおける飛行機生産能力の擴張が、一九四一年の主要な問題の一つとなることを意味するものである。單に飛行機製造に限られてゐない、苟くも英米兩國の要求下の急に應ずる軍需工業ならば、すべてが同一傾向を辿ることになるであらう。即ち、英國の購入するものは軍用機の外に、戰車、大砲、小銃、その他の軍需品一切を含むので、新春劈頭、米國政府の最大の關心を要求するのは、

軍需工業 の建設及び擴張の問題である。更に詳說すれば、工業方面に要する膨大な費用を如何に融通するか熟練工の供給には如何なる方法を講ずるか、原料其[illegible]ばならないのである。[illegible]とする工業[illegible]、それが一九四一年早々から米國民の負はされる重荷の一つだが、就中、厄介なのは、國家が膨大なる軍需工業を遂行する上において、財政上の無理から、惡性インフレに陷るやうな憂ひがないか、否かの問題である。この方面の費用は、現在のプランを基礎として、今後五年間に約三百八十億ドルを既に計上してゐるので、今年の豫算は百五十億ドルの超過となるわけだ。そして現在の稅收では、その三分二の費用にも應じ得ないから、從來國防として思ひ切つた增稅の必要が起り、同時にその上の不足額を補塡するために、起債の已むなきに至るであらう。さうした目的から、既にモーゲンソー財務長官は

國債の限 度を六百五十億ドルまで引上げることを、議會に要求すべき旨の聲明を行つてゐる。だがしかし、これはホンの手始めだといふことは、一般に認められてゐるところで、政府側の財政專門家の意見は、一千億ドル位までの起債は、どうしても已むを得ないが、其處まで行つて果してインフレの恐れなきやといふ點で迷つてゐる。一方民間側專門家は、或程度のインフレは免れ難いと見てゐるが、如何にしてこれらのインフレを或る限度內に止め得るか、米國政府にとつて、今後の最も重大な問題であらう。ところが米國には、それ以上厄介な、一九四一年の問題が課せられてゐる。それは米國が果して戰爭の圈外に止まり得るや、否やの問題である。米國民は戰爭の渦中に捲き込まれることを欲しない。それは今日も一年前と同樣であるといふことに、一點疑ふ餘地も無いのだが、今日の如く

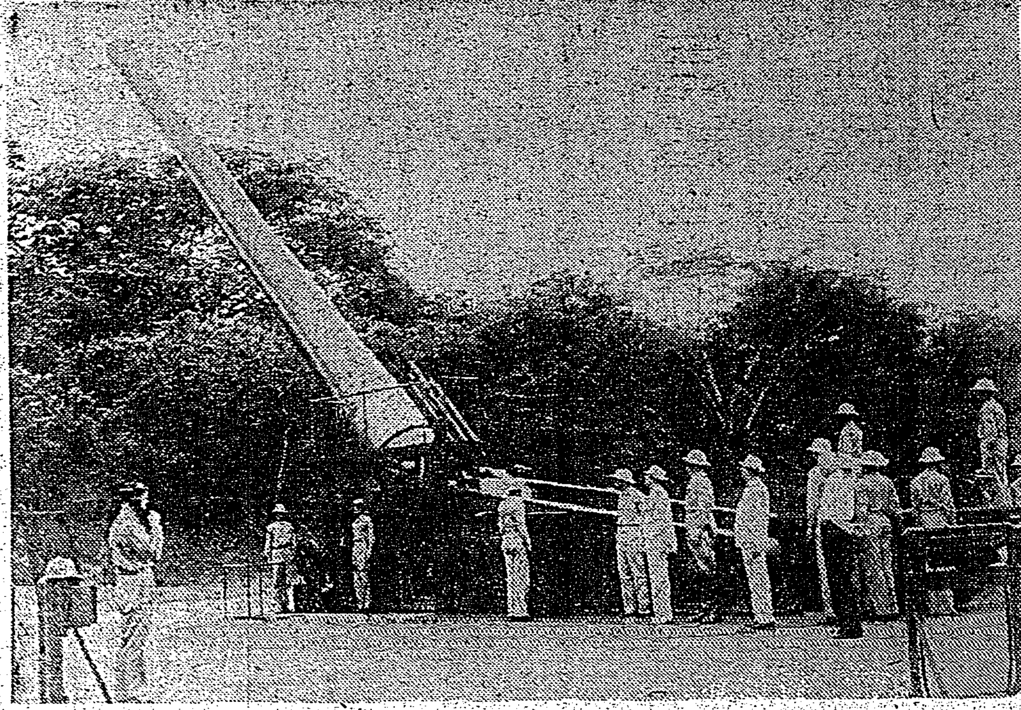
戰爭の方 から次第に米國へ接近して來ることになると、四圍の情勢は、いや應なしに米國をその渦中に引込むであらうといふ懸念が、萬人の心を支配してゐるわけだ。否、現に米國は實際に戰爭こそしてゐないが、相當厄介な立場で、英國の非交戰同盟國の役割を勤めてゐるのだ。從つて、萬一その役割の故をもつて、樞軸國から宣戰された場合、米國民がそれを好むと好まざるとを問はず、戰爭を餘儀なくされるやうなハメに陷らぬであらうか、斷言の限りではないのである。殊に日本と、樞軸國との間に締結された同盟は、アジアにおける戰爭と、ヨーロッパにおける戰爭とが連繫性をもつたことになり、結局、戰爭不可避の懸念を米國民の間に高めたのである。若しそれ同盟の條件なるものが、米國民の解釋する如くであれば、

太平洋方 面における一つの出來事は、大西洋においてドイツから直接、挑戰を受ける場合と同樣、恐らく米國を、戰爭の渦中に引込まずにはゐないであらう。それは多數の米國民に對して、恰も彼等が二ヶ所に起つてゐる火事の中間で、危い綱渡りをやつてゐるやうな不安な感情を抱かせるものである。しかも彼等は自分達の消防具が、[illegible]に在ることを、誰も認識してゐるのである。だがしかし、今や米國は米國が敵の攻撃を受けても大丈夫だといふ自信を持てる程度に、その防備の完成を期するため、時間の餘裕を得る唯一の手段は、英國の抵抗力を出來得る限り長持させる以外にはないと、思ひ込んでゐるのだ。[illegible]しにしたところで、次にナチ軍の攻撃目標となるものは何としても米國以外にないわけだ。假へばその鋒先が直接米國本土に向けられないまでも、少くとも南米に向けられることを覺悟せねばならないのである。故に、米國民は今日

甚だ危險 な輕業を試み、大輕業をやつてゐるものであることを自ら感じて居り、特に一九四一年において米國が歐洲の英國に對して、救援の手を差伸べれば伸べるほど戰爭に引込まれる危險は擴大すると見てゐる。現に英國に對する軍需品輸送船舶が、大西洋上でドイツ潛水艦の攻撃を受ける機會は增加する一方であるから、この際米國は、自國の船舶を英國の手に委ねては如何といふ意見も起されてゐる有樣である。これは少くとも三百哩の中立地帶では米國船舶の航行に當る事を禁止し、ドイツ潛水艦若しくは巡洋艦との間に衝突を惹起する恐れがある。その結果がどんな事になるかは、想像に難くないである。しかのみならず、米國が參戰として、平和を希望してゐる事情に變りはないが、英國のプロパガンダによつて踊らされてゐる少數派は、米國が依然、戰爭に參加すべきであると、盛んに主張しつつある。この一派は、大統領選擧が終るまで、大分活躍してゐたが、その後間もなく、ウイリアム・ホワイトを會長とする

親英團體 は、米國の參戰を率直に主張する宣傳を行ひ、大體の運動を開始したのである。尤も最後の方法として、戰爭か、平和かの問題は、主として國家の指導者達の手中に握られてゐると考へられる、若しルーズベルト大統領とその取卷き連が十一月の大統領選擧前、全米國民に與へた公約、即ち、政府は「歐洲不介入」政策を嚴守しその事情の如何を問はず外國の戰爭に參加するため、米國の陸、海空軍を海外に派遣しないといふ約束を、心から支持する考へであるとすれば、米國は當分恐らく非交戰國としての地位を維持し得るやも知られない、但し

大統領は 過去において、彼の與へた幾多の公約を忘れたり又は無視したりすることを平氣でやつて來てゐる。從つて米國の多數人士は、恐らく一九四一年において、ル大統領が再びその遣り口を繰返し、それによつて米國、延いては世界の上に、恐るべき結果をもたらすのではないかといふ不安の念に襲はれてゐるのである。



パナマ運河地帶の防備（寫眞は十六吋沿岸砲）

專任總務局長に石渡元藏相就任

【東京本社特電二十一日發】大政翼贊會專任總務局長に元藏相石渡莊太郎氏を推す事になり同氏の意向聽取に[illegible]行前に於て後藤組織局長、有馬[illegible]沼內相より就任方を交涉され一應は辭退したが有馬局長の懇請に

進駐獨軍六十萬

勃國內閣に危機

【ニューヨーク二十九日發同盟】獨軍の新たなるルーマニア進駐とともにバルカン情勢は再び緊迫を告げるに至つたが二十九日當地に達したソフイア電は獨軍のルーマニア、ブルガリア國境集結並にブルガリア內閣の危機につき左の如く報じてゐる

ルーマニア進駐の獨軍先遣部隊はルーマニア、ブルガリア國境に到着しドナウ河の對岸の兵舍に入り待機の姿勢をとつてゐるルーマニア進駐の獨軍の兵力は最初三十万と推算されてゐたがその後六十万說すら出てをりブルガリアは恐らくギリシヤに向ふ獨軍進駐部隊の通過を許容するであらうとの報道も流布されてゐる、一方ブルガリアの國內情勢も危機を孕みつつあり國王ボリス三世は廿九日フイロフ首相を招致して何事か重要協議を遂げたが政界消息筋では政變近きを豫想し新內閣の首班には恐らく現內相ガブロフスキー氏が任命されるだらうとの觀測を下してゐる

日銀券發行高

四十九億突破續昇

【東京本社特電二十一日發】日銀兌換券の發行高は三十日への繰越し高によれば四十七億八千萬圓となつたが三十日中には更に東西兩市場にて七千五百萬圓その他地方で約六千五百萬圓と合計約一億四千萬圓の增加を見るに至り四十九億突破確實となつたこれを昨年末の最高發行額三十八億一千萬圓に比較すれば實に十一億 の膨脹である

藤山新日糖支社長着任

日糖、帝糖兩社長で臺灣製糖常務の藤山愛一郎氏が氏の令弟で新任臺灣支社長藤山勝彥氏、取締役文書課長石井照二氏等を同伴二日來臺、三日虎尾に向つたが四日同支社における製糖所長會議に臨みそれより今度合併せる帝糖の各工場及び日糖の事業地を巡り各方面へも挨拶することになつてゐるが、新任支社長藤山勝彥氏は次の如く所感を語つた

前任臺灣支社長內山虎雄氏が永井氏の後を嗣ぎ直ちに着任して間もなく罹病され目下鎌倉で靜養中であるが、今度私が氏に代つて臺灣支社長を命ぜられたに就ては職責の重且つ大なることを痛感する次第である、申すまでもなく南方は日本の生命線であり而して南方發展の大きな動きと共に臺灣の地位、使命がいよいよ重きをなし來つたと共に我が製糖事業界にても內地に於ける糖業事業の存在價値が薄らぎ名實共に臺灣に重點を置かねばならぬことになり帝糖合併を機會に本社を東京より臺北に移轉することに決したやうな次第で、今後私は虎尾の支社と臺北本社との間を往復し臺北に居る機會が多くならうと思ふ、私は亡父（前日糖社長藤山雷太氏）に伴はれて昭和七年二月に來臺してから九年振りである

萬の敵より
一人のスパイ
臺北市新起町
臺北檢番

優秀客船
さんとす丸
高雄・基隆より
門司・神戶ゆき
就航
高雄出帆 一月十五日 前十一時
基隆出帆 一月十七日 前十一時
定員 一等 三八名 和室二等 一五〇名 三等 七〇六名
大阪商船

株金拂込ニ付御注意
當會社新株式第一回拂込ノ儀豫而御通知申上置候處期日モ相迫リ候ニ付テハ御失念ナク御取運被下度爲念重テ得貴意候
一、拂込金額 壹株ニ付金貳拾五圓
一、拂込期日 昭和拾六年壹月拾日
一、拂込取扱所
內地在住株主 東京市麴町區丸ノ內[illegible]支店
臺灣在住株主 臺北州基隆市[illegible]支店
昭和拾六年壹月七日
臺北州基隆市田寮町九拾五番地
臺灣肥料株式會社

本村齒科醫院
台北市大和町三丁目
院長 本村 靜
次長 合志信雄

齒科
澁谷齒科醫院
台北市新起町一ノ二
電話 二八八九番

口腔外科
平川齒科醫院
臺北市表町華南銀行
電四〇八一番
平川 渡

臺灣肛門病院
台北市表町三ノ二〇
電話 二八八六番
院長 田村稻城

專門
肛門病科
花柳病科
泌尿生殖器病科
診療開始
臺北市下奎府町一ノ四九（日新町公學校前）電話八六一五番
醫學博士 張秋朝
保生醫院

祝戰勝之春
菊正宗
台北 藤田商店

理化學器械
醫療器械
獸醫器械
專門製作
並ニ修繕
永成銅工所
代表者 吳森華
電話 六九〇九番

池端小間物店
臺北西門町市場
電話七參五四番

春の御寫眞御用命は
シルバーゲルト・フィルターケース
臺北市榮町貳丁目
フタバ寫眞機部

新時代の流線型クリップ付
セーラ萬年筆
セーラ萬年筆臺灣出張所
臺北市本町[illegible]

京染
太物
白生地
洋反物
安山城屋吳服店
台北市榮町三丁目二十三番地
住宅 台北市京町二丁目五十二番地
山本安次郎

南國情趣豐かに表現せる
特異の工藝品
多種店內充滿
郷土工藝の粋
臺北 榮町
山一物產販賣所

安い自慢の陶磁器
陶磁器ならなんでもあります
本店 臺北市榮町 電話九九六番
支店 臺北市西門市場
中林陶器店

御家庭向き
世帶道具金物類
石內商店
臺北市榮町四丁目
電話 貳五八參番

春の御用意は
野口ハカマ店
臺北市京町一丁目
電話 參七番

絲毛と各種絲物は
糸物商
秋本糸店
臺北市京町
電話貳貳五九番 五〇〇七番

冬物新柄荷揃
蒲團、座布團、毛布、綿、蒲團地
秋本蒲團店
臺北市榮町
電話貳貳五九番

古川洋服店
臺北市榮町三丁目
高級既製品各種
店主 古川正義
電話 參七八六番

臺灣出身の弊店
古川義商店

本年は尚一層全島の蓄產物や珍品を豐富に取揃へ勉强專一に致しますから御旅行の節は是非御立寄願ひます
臺北市榮町四
三共舍物產店

臺灣物產
內地土產
平野商會
臺北市榮町

和洋雜貨
川崎商行
臺北市京町一ノ三三
電話 參〇壹〇番

吳服
古着商
貸衣裳
たつき衣服店
臺北市榮町

共榮商會
印刷
メイシヤマハ
山岡正治

甘栗
みりんやき
本場甘栗
ヒカル食堂本店
臺北市榮町三丁目
電話五〇〇貳・貳七四七番

吉井洋服店
臺北市京町一丁目九番地
電話 三三八三番

眼鏡專門
臺北郵便局前
電話 六一五〇番
和田メガネ店
眼鏡時計
廣東市惠愛中路
電話 一三九五三番

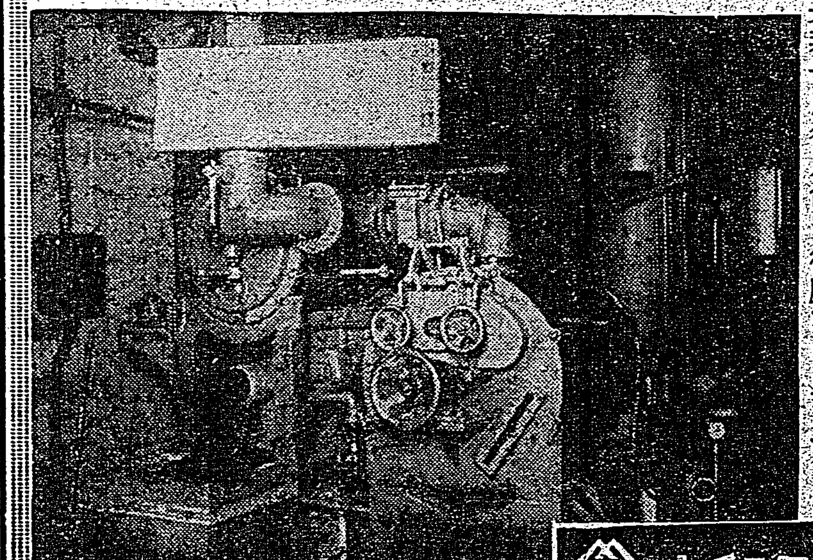
印刷と寫眞應用
印刷と製版
コロタイプ印刷
オフセット印刷
口繪類
記念寫眞帖
繪葉書
名勝案內
ポスター
地圖
銅版・凸版
臺灣寫眞製版所
台北市御成町四丁目三番地
岡部眞實
電話 七〇一八番

內地へのみやげ
●蜜餞各種 ●豚デンプ
●木瓜糖 ●鳳梨蜜餞
●味淋燒豚肉 ●新高飴
●金柑蜜餞 ●木瓜飴
●青漬文旦
其他各種アリマス
蜜餞元祖 東陽製菓部 臺北市京町參ノ貳五 電話貳六四貳番
臺產物 基隆驛前 東陽物產商會 電話參六〇番

公社債・實株賣買募集引受
臺灣證券興業株式會社
本社 臺北市大和町四丁目八
電話四一八一・五三三八・五三五一
社長 橋武雄
松井繁太郎
曾根秀之介
西岡英夫

國產特許
トリクリン機の出現

賀正
世界で一番進步した
國產ドライクリーニング機
臺灣で初めて弊工場に設備いたしました…
一般揮發油配給不自由の爲め皆樣の衣服織物を永持する爲今回トリクリン機を設置いたしました
化學的安全乾式洗濯トリクリン機に就て
(1)トリクリン機は現代世界に於ける最も進步したる最優秀なるドライクリーニング機械であつて其出現は從來のドライクリーニング技術の上に全く一大革命をもたらしました。
(2)トリクリン機に於ては從來のドライクリーニングに於けるガソリンの如き危險なる溶劑を絕對に用ゐず、特殊溶劑トリクレンD・Cを使用致します。
(3)トリクレンD・Cはドライクリーニング用として我が三井鑛山株式會社が特に我業界の爲めに多年研究の結果製出せる絕對不燃燒にして、人畜に對しても衞生上無害又衣類の品質染色等を犯すことなく、然かも其の洗滌能力に於てはガソリンに數倍する優秀なる特殊溶劑であります。
洋服は勿論高級品毛皮、絹布婦人服、和服一般毛メリヤスも仕立の儘で型も崩れず、縮まず、傷まず、美しく丸洗ひが出來ます。
是非一度御用命を御願ひ申上ます
大和クリーニング工場
基隆市朝日橋通元町派出所前
電話一二九八番



昭和十六年
休日表

一月	12　19　26
二月	2　9　16　23
三月	2　9　16　23　30
四月	3　6　13　20　27　29
五月	4　11　18　25
六月	1　8　15　17　22　29
七月	6　13　20　27
八月	3　10　17　24　31
九月	7　14　21　23　28
十月	5　12　17　19　26　28
十一月	2　3　9　16　23　30
十二月	7　14　21　25　28

阿野金庫特約店
大谷金庫
長谷川商行
台北市本町一丁目
電話三二七八番 四五六五番
振替台灣一三一三番

標準電波發信裝置 本年より實用化

大陸との通信に至便

【東京四日發同盟】近來我國と東亞共榮圏下各地間を結ぶ通信は頻繁を極めその上現在大陸各地を始め內地の有線無線の發信所は何れも困つた混信を有し又その周波數が發信所の**増加**と共に相似して來たため自然混信を生ずるのでこの電波を指導統制すべく遞信省では先般來各方面及業界の權威を總動員して「標準電波發信裝置」の研究を進めてゐたがこの程完成したので愈々今年から本格的に實用化することになり十六年度豫算を以て東京近郊に「標準電波放送局」を開設することに決定、目下敷地の選定を急いでゐる、この標準電波放送局は千葉縣檢見川に設置される標準電波局の標準源器から千キロサイクルの標準電波を受け強力な放送機に依つて標準電波として放射し大東亞共榮圏下各地の電波に號令するものでこの**開設**に依る利益の二、三の例を拾ふと軍事的には戰時通信が可能となり方向探知機に依つて敵軍に發見される虞れがなくなり又艦船、飛行機等に對する無線送受も敵に妨害されることなく使用電波の秘密が確保される、更に一般民間では無線電信相互間の混信を防ぎ無線電話はパイロット・ウエーブの不必要に依り多重無線電話が實現し有線電話も相互間の周波數の調整が容易となる結果利用分野が擴大される等多大の便益を受ける譯である

大登山隊歸る

新コースは近く發表

白銀の衣に覆はれた冬の中央山脈五岳に挑む高商山岳部の新高、次高、大霸、南湖、大武への大登山は旣報二十八日より新高班中崎、山下、山田、尾崎、野村並に次高班財津、小林、安倍、小林(武)大霸班下澤、淵井、富田、及川、分隊、南湖班木田、出口、及川、宮村、樹永、大武班平澤、谷岡、河南、吉井、竹下の各山岳部員の縱走に依つて行はれたが孰も非常な成果を擧げ凱歌を奏し夫々四日から五日に亙つて歸北した、尙同登山隊の新コース開拓の結果は近く發表される模樣である

高雄の出初式

【高雄電話】新東亞建設の意氣も高らかに戰時體制下に迎へた紀元二千六百一年の春一月四日高雄消防組では午前八時より市役所前廣場に於て赤堀知事、要塞司令官、宗藤市長、大谷光瑞氏その他軍官民多數參列下に恒例の出初式を擧行、先づ遙拜、默禱、檢閲等の後昔懷しい木遣音頭に合せて颯爽たる纏振り梯子乘り消火演習等あつて同十時終了後梯子乘りの一隊は市內主要の箇所を練り歩いて妙技を展開した

新竹の出初式

【新竹電話】四日は恒例の新竹消防組の出初式午前十時全組員並壯丁團員は東門城前廣場に集合、宮木知事の臨席を仰いで頭組長以下一同纏切り梯子乘り、消火演習を行つて閲兵分列式に移り正午盛況裡に終了したが本年より新體制に則應して梯子乘りの町內廻りは廢止された

家庭番號を創設

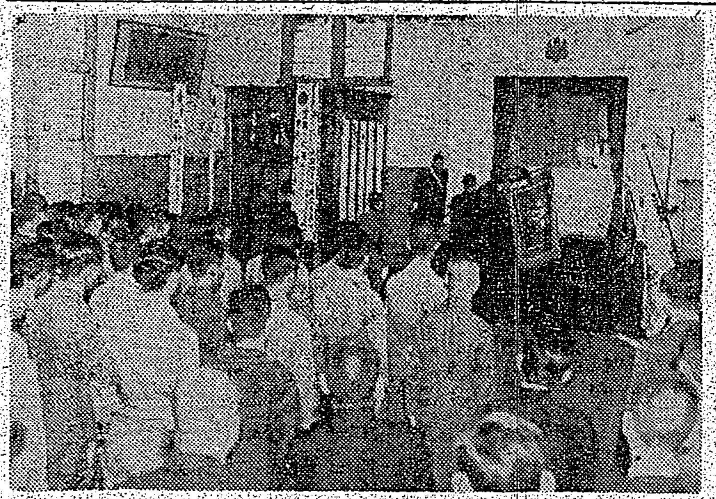
遞信省で配達能率を增進

【東京三日發同盟】最近都市の番地が相當に入組んで來て郵便配達集金、貯金、簡易保險等の集配人の能率を妨げ、そうでなくとも手不足で困つてゐる矢先とてこの點遞信當局では番地の新整理を計畫してゐる、即ち都會の膨脹につれて町名番地の混亂は次第に甚しくなり最近の東京新市域の如きは他の町の中に飛石の樣に町が分散してゐたり一軒隣りが百番地も番地が違つてゐる等手不足に惱む郵便局の從業員を困らせ、又一般市民にも多大の不便を與へてゐる狀態だがこの番地は區役所の區劃整理、戶口查察、大藏省の地租等に關係を持つてゐる爲めに簡單に變更する事が出來ないので遞信省では從來の番地はその儘にして置いて別に郵便配達用「家庭番號」を作ると言ふ計畫を樹て目下研究を急いでゐるがこれは番地をイ、ロ、ハ形の番號にしてこれを基準に各家庭に順序よく番號をつけこれを新番地と關係なく日常の生活に使用させようと言ふのである、然しこれを實現するのには各市町村自治團體と內務省、大藏省等と打合せねばならないので近く關係各方面と連絡協議の上實現に努力する事となつてゐる

新隊旗を先頭に 市中を行進

魁挺身隊に隊旗授與さる

今次事變の際一線に於てよく皇軍の奮闘を援けて活躍した魁挺身隊は今般本間軍司令官より隊旗を授與されることとなりその授與式を五日午後三時から市內太平公學校に於て擧行した來賓は上村參謀長、酒井海軍武官、田中高砂部隊長、酒井憲兵隊長、谷臺北州警務部長、白鳥市大政翼贊會本部長、岡原北署長、府內各部長等の諸氏をはじめ約百名、宮城遙拜、大東亞戰歿將士、國歌合唱の後本間軍司令官より魁挺身隊長陳高波氏に隊旗が授與され、ついで軍司令官の訓示、陳高波氏の誓辭及び隊員への訓辭があり、隊員代表の後、酒井海軍武官、南谷州知事代理、府內の諸氏の祝辭があつて午後四時半閉式した、同隊員は新隊旗を先頭に市中行進を行つた



（寫眞は隊旗の授與式）

やがて出來る 理想的の溫泉鄉

櫻ケ岡できのふ地鎭祭

人的資源の確保を期するには先づ國民の健康保持を圖らねばならないと云ふので臺北近郊の七星郡唭哩岸の高地四萬六千坪餘に理想的一般向き溫泉鄉を施設する計畫に就いては旣報の如く櫻ケ岡溫泉土地社長吉田修氏並に同氏を援けて協力する國南莊主小幡俊介氏等に依り保健國策に順應せる建前から種々研究を續けつつあつたが、この第一期事業として同所に四百五十人を收容する公共浴場を建設することとなり諸準備も整つたので五日午後三時より現地に地鎭祭を擧行した、久保七星郡守、吉澤臨街、久保田鐵道部課長、吉田中和庄長、中村彰銀支店長、竹內辯護士その他來賓官民多數あり盛大であつた同工事は三月中に完成の豫定であるが、同地は臺北を眼下に見渡す風光明媚、空氣は清澄、溫泉は北投から引込み營業長皆なもので櫻ケ岡と名附けられて居り一般に期待されて居る、尙本公共浴場建設に次いでの施設は吉田氏本來の計畫たる虛弱兒童療養所、觀光ホテル等設立に取掛る筈である

馬上姿も勇しく

颯爽と遠乘會

新臣の本間臺灣軍司令官歡迎を兼ねる軍官民聯合の新年遠乘會は五日旣報の如く本間軍司令官をはじめ軍官民約百二十名の參加をみて開催された、午前九時第五部隊營門を出發、東門三線道路より右折東門町一條通りから堀川通りを過ぎ三線神社前から北投街道に出て北投に到着、野食の後歸路につき圓山動物園右側より大稻埕に入り大平町を經て第五部隊營門に歸り萬歲を三唱して午後五時散會したが、麗らかな新春の陽に惠まれた絶好の遠乘會であつた

【寫眞中央の白馬上が本間軍司令官】

十日間の猛訓練で 見事な成果を收む

合同滑空訓練會終る

【臺中電話】旣報二十七日より十日間〇〇にて合同滑空訓練を實施してゐた臺南州國防義會航空部では四日を以て訓練を終へたので松總督府航空課技手及び大竹本社企畫部副部長の挨拶の後、野營を撤し、五日隊員一同は同日臺中に歸還の途についたが、今回の訓練では最初の斜面上昇氣流を利用しショック・コード出發によりセコンダリー・D・B二三號機を加藤教官の手で生地上空を滑空させ滑空一分三十五秒（風速三米八）の記錄を作つた事は大なる收穫とされる譯である

座談會 日米戰はゞ？ ④

戰略基點を持たぬ

米國の作戰上に弱點が多い

前原氏　アメリカの作戰について ソ國のエリ・イヴアノフヤイ・デドフとか云ふ人々が日米未來戰を論じた論文で、アメリカの對日作戰はいろいろな弱點がある、その弱點として擧げて居りますのに、アメリカは日本を攻擊するのに適當な空軍の根據地を有つてゐない。また、海軍の根據地にいたしましても、非常に遠隔な地にあり、適當なものをもつてゐない、この二つがアメリカの對日作戰について重大な弱點であるといふことを述べてあるんでございますが、この點について匝瑳閣下にお伺ひしたいと思ひます

匝瑳少將　それはアメリカの海軍の力でいろいろ研究してゐるのを私ども研究してゐるところに依ると、日本攻略に對してアメリカ一國では非常に困難な狀況が澤山ある。殆ど不可能な狀態になつてゐる。それはいまお話のやうに空軍の基地がない、それから適當な戰略基點がない、この二つのものが一番アメリカに取つての弱點なんです。そこに、しかも日本の委任統治の群島があつて、アメリカの艦隊が日本に近寄る側面の脅威をここから受けるので、日本本土攻略といふことは出來ない、そこでアメリカは頻にソヴエットを誘つて北の方に空軍基地を得ようと交渉に居つてゐたが、アメリカ自身でもアラスカ、アリユシヤン、ダッチハーバー、コジヤック等といふ空軍基地をうんと拵へ設備を積極的にやつて居ります、と同時に彼の狙つてゐるのはカムチヤツカ、ペトロパヴロフスク、ああ云ふところは非常にいい港がある、南の方もさういふ風にアメリカ艦隊の基地に使用出來るといふことになると、彼處から丁度日本の樞要位の所までが二千キロの航續圏に入つて來るそれでアメリカはこれを狙つてゐる北方は非常に氣象が惡い殆ど一年の三分の一ばかりが霧で蔽はれる、それで如何なる氣象であつても、それを克服して日本に攻めて來られるといふ盲目飛行を研究してゐる、ソヴエットと手を握り、ペトロパヴロフスクが共同使用でも出來るといふことになると、日本は北方からの脅威を受けるとになる、これが出來ますと日本の本土は相當距離大陸機が飛んで來る、ソヴエットがあつちの味方になれば、北からの空襲といふことは日本にとつて非常な脅威である、艦隊の力を用ひずして日本を屈服させられる、殊に日本の都市の如き燒くのに譯はない、それで日本はへこたれると米國は考へる、次に米國に有望な基點としてミッドウエー、グアム、ヒリツピンを結んだ作戰といふのがあるが、これはマーシヤルとかカロリンとかいふ風なので脅威を受けてゐるから、これは殆ど出來ない、そこで今度は南の方のサモアとか濠洲、シンガポールといふ遠距離封鎖線が出來て、これで日本の經濟封鎖といふことが完全に出來る、斯ういふことでいきやつて居ります、これはアメリカ一國としては出來ぬが、英米が合作で英國が自分の領土を共同に使用させることによつて初めて可能なので、これは今日に於ては殆ど成立しさうです。即ち今日以後に於てはアメリカと聯ふといふことは英米と聯ふといふことになるので、日本は非常に苦しい立場になつて來た、そこでアメリカが日本をやつつける方法を考へてゐる、それは南の方からカロリン、マーシヤルといふところを包圍しに潰して行く、段々包圍の脅威をみたして行つてあの邊の艦隊を除いてから、日本近海に北上して、日本近海で決戰をする、斯ういふ考へを有つてゐる、これにしても布哇から來るんだから兎に角三千五百浬はかかりますから、却々困難だ、殆ど出來ない、併しある場合に於てはさういふ場合に日本は艦隊の三力が少ないとすればいまのやうな瀨戸內海に於て劣勢な海軍で決戰をする、從つてそれまで日本の艦隊としては決戰が容易に出來ない、かういふことになる、そこでアメリカ人は考へてゐる日本の艦隊を誘き出すためには日本の弱いところを一突きすればよろしい、此處は日本に於てどうしても回復しなければならぬ、斯ういふところが日本にある、それを攻略に行く、かうすれば日本の艦隊がそこへ出て來て海上で決戰が行はれる、斯ういふ風に考へてゐる、それは何處かと言へば臺灣なんです、臺灣をやつつけられては、南支那の自分の海軍艦隊が破壞されるから、日本としては絶對に救はなければならず、そこを確保しなければならぬ、斯ういふ點で日本の艦隊が出て來る、ことで最後の決を採らう、斯ういふ風にアメリカ人は考へて居る、これをやつて來られると、或は日本は誘き出されて、さうして同時に決戰が行はれるかも知れないからなんです、これはアメリカの冒險です、北上するといふ事はマニラが基地にならなきや困難なことです、併し凡ての狀況が變化して、今度は日本の艦隊をやつつけさへすれば日本が屈服するんだといふ狀況に行くかも知れない、日本としては一番痛いところです、日本の主力艦と決戰をやる、決して日本でも敗けませんでせう、いろいろ日本は戰略的に優位を占めて居りますから、日本の飛行機がどんどんさういふ決戰の場合にあつては、より以上にやつて決して敗けないと思ふんですが、さういふ風に彼等は考へて居る……

前原氏　只今匝瑳閣下のお話で海軍並びに空軍は如何なる方法で日本に進攻するかといふことについて、お話がございました、今度は松永閣下にアメリカ空軍はどういふ點から攻擊するか、どういふ方法を採るか、いま匝瑳閣下から話されるところもございましたから、一つ陸軍の立場から……

出席者（元聯合艦隊司令長官海軍大將山本英輔△海軍少將匝瑳胤次△大日本航空會社理事海軍少將松永壽雄△內閣情報局情報官海軍中佐高瀨五郎△大本營陸軍部報道部員陸軍少佐秋山邦雄△大本營陸軍部報道部員陸軍少佐平櫛孝△評論家酒井鎬次△同（座談會）前原光雄（於東京星ケ岡茶寮にて））

新竹州御用始式

【新竹電話】新竹州廳では四日午前九時より會議室に於て廳內全職員參集の下に恒例の御用始式を擧行、宮木知事より新年を迎へて緊褌一番吏道精神を發揮すべき訓示あつて同九時半終了したが部內各官衙に於ても夫々右同樣擧式した

市民の初登山

紀元二千六百一年の新春を臺北市に迎へる臺北市役所主催趣味登山會參拔の市民初登山は五日(日)大屯山麓面天山へ行はれた、當日は絶好の初春日和に惠まれ臺北驛に集合したハイカーは老幼男女併せて五百餘名の大盛況であつた、一同は新北投より山脚、中腹を經て面天山頂に新春の陽光を身に一杯浴びて颯爽と登攀し山上では宮城遙拜、皇軍將士への感謝默禱、臺北市民歌、萬歲し、その他盛澤山な遊戲を催し午後三時半新北投で解散したが新春登山として頗る意義深きものがあつた

臺北州會臨時會

臺北州では來る九日午前十時から同州會議室に於て臺北州會臨時會を招集し昭和十五年度臺北州歲入出豫算追加を附議し又參事會員を選擧する

盤景の美を競ふ臺灣で最初の展覽會

我國古來の造形美術である盤景在北七社が新體制に則應して合同懇親し從來月例研究會の實技として祕して來た技術を交換して斯界の向上を圖ることとなり三水流盤景臺北支部を創設したがこれを機に本島最初の大展覽會を來る七、八の兩日午前九時より午後六時まで市公會堂三階大廣間において開催一般に公開して盤景美術の妙味を知らしめることになつた

新春に飛降り自殺

【臺中電話】臺中市曙町二ノ二六五番地張氏阿桃の招婿呂進道(二七)は四日午後四時四十分頃市內榮町四ノ一二大屯カフエーにてほろ醉機嫌になり三階の窓所に駈け登り高さ十米の所から第一市場內を目掛けて飛降り腦出血して即死した、原因は目下臺中署にて取調べ中である

臺高二連霸成る

【東京本社特電四日發】東大主催全國高校ホッケー大會決勝戰は四日午後一時より東大競技場において臺高對五高の間に擧行された、この日帝都は猛烈な寒風吹き荒み場內は砂塵が濛々として眼が開けられない始末、これがため撒水車を出動させ防塵作業を行ひ試合開始を一時間延長、臺高選手にとつては極めて惡條件化し試合は開始後十三分最初の得點をしてより有利で選手一同良く頑張り左のスコアにて臺高堂々五高を破り晴れの二連霸を成就した

臺高　二―〇　五高

尙選手は前日と同樣である

故倉岡氏の告別式

故倉岡彦助氏の告別式は五日午後三時から西本願寺で營まれた、讀經に次いで總督府內務局長、木原市長、川村知事、總務長官、臺灣軍軍醫部長その他多數の弔辭弔電披露、遺族並に參列者各代表の燒香、炬內委員長の挨拶があり四時五十分式を終つた、當日は故倉岡氏が多年に亙る臺灣の衞生、防疫の功勞者であり且つ在臺期間が永かつたので知人も多く會葬者八百餘名といふ盛儀であつた

張社員の遺骸

【嘉義電話】新高主山で遭難した本社會計課員張清德君の遺骸は新報を手にして急遽本社より駈けつけ入山した伊藤會計課長をはじめ登山隊員一行に護られて四日午後八時八通關駐在所に到着、同夜は之等の人々によつてしめやかな御通夜が營まれ五日夜同所で茶毘に附した上六日早朝八通關を出發、東埔社を經由して二水に向ふことになつてゐる、尙嘉義岡登山隊長（本社嘉義支局長張主任）は狀況報告のため五日午後三時四十分嘉義驛發列車で歸北したが隊員七名は同日午後一時五十五分着列車で下山し嘉義において解散した

臺北覺生會で講演會

臺北覺生會では六日午後七時十分より市內佐久間町南門公會堂にて左記新體制新春の講演會を開催する由、一般の來聽を歡迎すると

一、所感　村山　男氏

一、臣道實踐と佛教思想　升田　榮氏

ラヂオ

朝【七・三〇】朝の修養（京都）萬葉人の生活に學ぶ（三）…佐伯梅友【八・〇〇】南洋講座（第五十七講）（臺北）南方に於ける金融事情（一）…臺灣銀行調査課長　有元剛

晝【一一・五九】正午の時報（東京）【〇・〇五】新日本音樂（東京）一、春の曙（田中忠正作詞、齋藤松聲作曲）…箏唄―齋藤松聲 二、新しき光（齋藤松聲作曲）…箏―齋藤松聲、尺八―片山嘩山 三、早春譜（宇野美風作詞、齋藤松聲作曲）…箏―齋藤松聲、尺八―片山嘩山【〇・四〇】婦人の時間（東京）前線の正月…陸軍省報道部員陸軍少佐　[illegible]【五・三〇】ニュース【五・五五】コドモのニュース（臺北）…臺北市樺山小學校（四年）寺澤富士夫【六・〇〇】子供の時間（東京）少國民生活訓練週間ラヂオスケッチ家族一家（高山隆一作）…小泉忠外、伴奏―東京放送管弦樂團【六・二〇】子供の新聞（東京）【六・二五】講演（東京）【六・四五】夕方の音樂（レコード）ピアノ二重奏―アラビア綺想曲作品九六（サンサーンス作曲）…ホセ・イトウルビ、アンパーロ・イトウルビ【七・〇〇】子供の時間

夜【七・〇〇】（臺北）週間日本週間第一夜お話　南へ南へ…山本實一【七・三〇】國民歌謠（大阪）一、獨唱―獅子の賀（島崎藤村作詞、大中寅二作曲）二、齊唱―日本婦人の歌（相馬御風作詞、深海善次作曲）獨唱―松田トシ、齊唱―JOBK唱歌隊女聲部、伴奏―大阪ラヂオ・オーケストラ、指揮―毛屋平吉【七・四〇】講談（東京）め組の喧嘩…神田山陽【八・一〇】ラヂオ・ドラマ（東京）激流（[illegible]作）【八・五〇】時論（大阪）…服部賞堂【九・〇〇】時局談話（東京）新時代に處する日本人…永田秀次郎【九・三〇】朗讀（東京）【九・四〇】時報【九・四二】ニュース解說（臺北）

けふの天氣

臺北地方	東の和風晴一時曇
北部地方	北東の和風曇
東部地方	北東の和風曇
西部地方	北の和風晴
南部地方	北の和風晴
澎湖地方	北東の疾風晴後曇
新南地方	北東の和風曇

【萬なかだち】
賣家　幸町 [illegible]
電話賣買　低利金融 [illegible]
結婚調 [illegible]

御會葬御禮　倉岡東一郎

御會葬御禮　松山恂

臺北市老松公學校訓導從七位勳八等大山軍治儀 [illegible]
昭和十六年一月三日
男　大山泰
弟　大山軍太
　　喜元富豐
　　鏑木隆島
　　美島行武美
　　藤村豐翠
友人代表　小宮山[illegible]郎
　　龜岡不二生
　　原田萬太郎
　　山田金盛

父林貳子儀 [illegible] 永眠仕候 [illegible] 諸賢に謹告仕候
昭和十六年一月六日
男　林九英
男　許樹浩
孫　許外森
親族一同
親戚一同
友人一同

龜割太兵衛儀 [illegible]
男　龜割賢二
　　立本直衛
親戚　戶木田淸二
族　田野直次
友人代表　溝口芳典

大阪商船　臺灣出帆

日本郵船　基隆出帆

東亞海運　基隆出帆

辰馬汽船　基隆出帆　辰鳳丸　辰春丸

大連汽船　基隆出帆　長山丸　恩山丸　西山丸　嵩山丸

內小兒科　呼吸器病科　レントゲン科　淺井病院　臺北市末廣町　入院隨意・電三〇四二番

婦人向・嘉用　洋服地　洋裝地　大和洋行　臺北市大平町三

內地土產の…果物は　矢野商店　神戶支店

革工品　皮革品　軍需品　森田商會

和洋雜貨類取揃　松原商行　臺北市本町貳丁目

帽子專門店　臺帽公司　臺北市本町通り　電話四四六五番

洋傘の專門店　日進洋傘店　臺北市本町二　電話貳四六六番

高等文具は　惠比壽屋商店

和洋雜貨類　豐富取揃　瀧村兄弟商行　臺北市本町　電話貳〇八六番

履物專門　日ノ原商行　臺北市本町

新案特許　節米カマド　節炭・コンロ　節米カマド研究所

酒煙草食料品　ヤマカ食料品店　臺北市本町壹丁目拾番地　電話貳壹七八番

和洋菓子とパン　一六軒

文官・武官・婦人・お子様服地並に服及び各種洋雜貨　行成商行　臺北市本町一丁目

荒物商　桝五商店　臺北市本町一ノ二〇　電話一二三九七番

實用百貨新品　日進マーケット

酒煙草食料雜貨は　伊田商店

吳服反物は　服部吳服店

謹賀新體制新春
◎洋傘ダケは是非永久保險付……
◎無料修繕安心の出來る弊店で……
專門店　三和洋傘店　臺北市本町通り　電話四四三三番

洋服地卸商　逢坂商行　臺北市大和町二丁目　電話 仕入部 四三七二番　紳士服地部 四五四五番

有價證券引受賣買　大一商事株式會社　社長 王福　常務 今城

時代の要求　便利な貸衣裳を御利用下さい　御婚禮　御葬儀の御衣裳は！　阿部貸衣裳部

精巧な器械・獨特な技術　臺北唯一純專門店　金光堂　臺北兒玉町派出所前

八木冷藏庫店　臺北市兒玉町二丁目六番地

小川メガネ店　臺北市榮町二丁目

東亞石鹼全島一手販賣　第一商事　臺北市若竹町二ノ一九　電話七七四一番

時計眼鏡販賣並修繕　野田時計店　臺北市京町二丁目　電話五一二二番

室內裝飾ト家具　合名會社 秋本商店裝飾部

寫眞機械及材料一式　光音十六ミリトーキー映寫機　活動寫眞フイルム　株式會社 西尾商會　臺北市榮町一丁目三八番地

僻村に薫る遺德

乃木將軍の氣高き溫情

今に殘る　乃木坂

新竹州竹南郡南庄に乃木坂といふのがある、僻り一般には御馴染のない土地ではあるがこの地の官民擧つて今もなほ慈父の如く乃木將軍の德を慕つてゐると云ふ隱れた事實をこの乃木坂の呼稱に知る時銃後國民精神の上に一層緊張を加へねばならぬ時も時まこと旱天に慈雨を得たるが如き喜びを感ぜざるを得ないものがある。臺灣總督府竹南郡より二十五キロ、新竹州に接したこの僻地に軍神乃木大將の精神が生きてゐる、然も第二國民の訓育にこよなき手本とされてゐる、今私達がこの乃木將軍の尊き事蹟を探るのも決して無駄な仕事ではなからう、

時は明治二十九年十一月に遡る、乃木大將一行は竹東より南庄に赴くべく南北部より南下巡視の途にあつた乃庄田尾黃鐵石氏宅に立ち寄り晝食を摂つた後南庄に入り現在郵便局の位置にあつた坂の上なる南庄辨務署に滯在しそれより新竹巡視を行つたのであるがその南庄滯在の數日間部落の隅々までも巡視し詳に民情を調査して高潔なる人格に全庄民深き感銘をうけたのである當時領臺間もなく惡疫猖獗をきはめ度々蕃人出草の事もあつて物情騒然、然も交通不便の山奥とて本島人はもとより內地人在住者の困苦は言語に絕したものがあつたが將軍はこの狀態を痛く憂へ何をおいても先づ衞生狀態をよくせねばならぬと愈々出發と云ふ際に地方有力者をわざ／＼呼び寄せ『惡疫絕滅の何かの費用にしてほしい』とポケットから二十圓をとり出して寄附したので一同泣いてその溫情に反かざらん事を誓つたと云ふ美しい逸話が殘されたが、隨行の幕僚一同もこれにはげまされ我も我もと私財を投じ更に南庄後は將軍の義金によつて各方面よりの寄附金さへ蒐集されると云ふ行き屆いた計らひに全部落を擧つて將軍の德をたたへ長くその溫情を偲へるため明治三十三年六月には將軍が杖を曳いた坂を乃木坂と命名、頂上に高さ三尺の碑を建てまた昨昭和十五年六月十七日の始政記念日には現公學校長村岡哲四郎氏始め庄有力者の發起で保存會を設立し文獻の蒐集、刊行物の發行をなすはもとより新たに石柱をたてまた將軍の色紙をもらつたと云ふ故黃鼎郎氏の令息光榮氏の寄附によつて公學校に等身大の像を設け前中島軍司令官の碑文『大和魂』を得て華々しく除幕式を擧行したのである、當時南庄區長の職にあつて將軍の接待にあたつた名望家黃鐵石氏は今もなほ健在であり將軍の寄附に

感激　して小川辰一なる人が綴つた感謝狀も發見されて乃木坂こそ春風秋雨文字もうすくはげ汚れたとは云へ乃木將軍の德のみは更に不滅の輝きを加へ學校の像は未曾有の國難にぶつつかりつつある日本の未來に强き力をそなへよと兒童を訓しつつある、まこと今の世にほしきは乃木將軍の魂である、なほ參考の爲に當時の感謝狀と寄附者氏名を揭げると次の通りであるが寄附者中には住友吉左衞門氏や財界の大御所藤田傳三郎氏其他知名の士の名の見えるのも興深いものがある

感　謝　狀

閣下擧に新竹御巡察の擧あらせらるるや南庄街へ御入淸の節親しく當街人民住居の狀況衞生上に意を留めさるを諦視せられ且つ當街へ來往する多數內地人の疾病死亡相募る所以のものは多くは衞生の相立たさるに基因するものたるを賢察せられ閣下半生の人愛惻隱の御德性によりて當街民の爲に御私金を惠與せられたり、斯の如き御仁恩に對しては內地人は勿論當街住民等大に感動を惹起し敬服深く心肝に銘刻し不肖內地人及び土民を代表し恭しく拜謝し奉る

南庄人民總代　小川辰一外四名

寄　附　者

乃木大將二十圓、櫻井勉十圓、金子源治五圓、水間良雄五圓、吉川治三郎、乾官太郎、中山仁太郎、隈元浩一、和田安治、今井鐵之助、市來宗熊、川畑愛助、岩崎長明、津田磐石、黃鐵石、張王甫、徐芝生、黃裕甫、陳秀闊、角金、陳楝、蘇阿瑞、蘇阿山、邱娘任（以下各一圓）松尾清海三圓、高比良參吉二圓、內藤村二圓、森虎太郎二圓、本田潛二十圓、松田時馬三十圓、奈須義質二十圓、飯田健十五圓、十松楠瀬二十圓、橫山岩次郎十三圓、藤田傳三郎二十圓、住友吉左衞門二十圓、川島ノブ十圓、鮫島武治郎七圓、矢野清五郎、神谷甚造五圓、西田辯太郎五圓、吳細向二圓、周德、范榮輝、郭松貴、彭串、藏阿益、范建（以上各五十錢）＝寫眞は公學校の乃木大將像＝

篤農家を訪ねて

成功の蔭に數々の苦心

あらゆる產業の隆盛促進は現下の要務だ、新竹州は產業州である米に茶に柑橘にＥＴＣ・ＥＴＣ・拍車をかける產業報國の號令をききつつ篤農家を訪ねてその堅實な努力を賞揚するのは心樂しいものである、州下篤農家のこれは尊敬に値するプロフイルである

△鍾興木氏＝新竹市埔頂四〇一

同氏は明治二十四年に金山面茶園を經營し當時茶業も相當の打擊をうけて一般では日光乾燥を行つてゐたが自分は高級茶を作るべく研究し炭火乾燥を用ひて南部に販路を擴張し

島內消費　に充ててやつと恐慌の嵐を切りぬけ其の後はこの試錬を唯一の資本として好不況に拘らず品質第一、良い茶を多くつくることをモットーにすみ生葉は全部自園で供給するやう耕作面積もひろめた、防風林の設置、耕作用馬の使用を一步すすんで計畫しこれにより多様の副產物的利益も擧げてゐる

【寫眞は鍾興木氏の茶園】

△張阿松翁＝苗栗郡頭屋庄頭屋

この人も亦茶の篤農家、本年八十二歲の老齡ながら、なほ產業報國には死ぬ迄働くと頑張つてゐる心意氣が頼母しい

明治三十一年即ち四十一歲の春に茶園の

植付けを　なしてから無肥料掠奪經營の無定見に逸速くも眼をつけ一般では施肥は製茶品質を落すと猛烈たる反對論が起つた中に敢然立つて茶畑の施肥老齡茶園の臺刈、茶畑の深耕又は客土等を實行し更に增產に力を得て綠肥の栽培、茶園の剪枝金肥と堆肥の併用と研究に研究を重ねたのである、また質より量等と云ふ惡風にも抗して品質の改良向上に努力して一心一葉の摘茶を嚴守し施肥の方法等にも工夫を加へ製茶技術の錬磨に一段の苦心を拂つて今日ある榮譽を克ち得たのである翁は今なほ子や孫の部隊長となり孜々として

生產擴充　の第一線に立つてをり、郡役所當局係員にも賞讚の標を示してゐる【寫眞は張阿松氏の茶畑】

△林金貞翁＝苗栗郡公館庄中小義

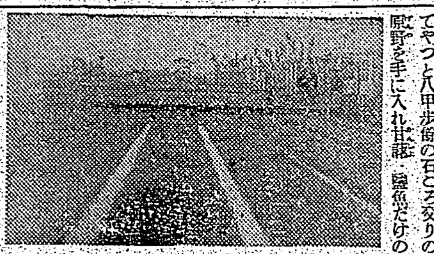
これはまた七十七歲の老翁、だがこれは水田經營に當局を感歎せしめた苦心をもつ人である、もたざるものの悲しさである、百姓であればそれが田となり畠の夢となる、そこで翁も水田をもつたとの夢を實行に移すべく百方奔走してやつと八甲步餘の石ころ交りの原野を手に入れ甘藷・蔬菜だけの飢餓一步の線にふみ止つて子供全部を動員し只管これを

美田化す　る爲粒々辛苦の開墾作業を始めたのである、かくしてやつと形だけはととのつた水田は全く原始的なものでこの苦心に報いられたものは甲當り一期三千斤の價ないものであつた、翁は更に作れて從やむの勇猛心を振ひおこして一甲步十圓餘の區劃整理と逐次地の栽培地力增進の爲の綠肥と堆肥の研究、排水と旱乾並に冷風防除による優良種籾の確保等々一步一步改良を加へ昭和五年には進んで短期苗代を設け今では全部落これに倣ひ從來第一期作苗は良く株を收めると云ふ缺陷を一掃して好成績を收めるに至つた、續いて深耕勵行、

惜むべき　舊慣陋習との闘ひ『大地』に見る姿そのままの苦心もあつたが戰甲廟は家鴨軍に進駐命令を下して遂に敗退せしめた、翁は語る

世に借財程の苦痛はない、借財を返すと家も明るくなつて心も安く古來聖賢の說くところと一致する、私は老いたりと雖もなほ遠大な希望をもつてゐるが現在の心境は只人事を盡して天命を俟つの一語に盡る

これは篤農家の哲學である【寫眞は林金貞氏の短冊苗代】



大溪で强步大會

新竹州大溪街主催の大溪桃園中壢經由往復の四十粁强步大會は二日參加人員三十二組午前九時五分街公會堂前を一齊出發快晴に惠まれ各々健脚振りを發揮し一人の落伍者もなく同午後四時全員歸着した、當日の成績は一着江昌裕所要時間五時間三十二分、二着揚文水所要時間五時間三十六分、三着謝其柳所要時間五時間四十二分（以下略す）

貿易額は逐年增加

正に驚異的發展振り

高雄港に於ける貿易は島內產業の開發、港灣施設の改善、運輸交通の發達と相俟つて逐年增加し昭和十四年中に於ける貿易總額は〇〇萬圓に達し吞吐貨物〇〇噸を超える盛況振を示してゐる、その主なるものは

輸出品砂糖、鳳梨罐詰、芭蕉、鮮魚介、食鹽、輸入品肥料、ガンニー袋、鐵、包茂、綠豆等にして移出品は砂糖、米、鳳梨罐詰、芭蕉、酒精、鮮魚、移入品肥料、木材、鐵製品、小麥粉、建築材料、織物、煙草食料品、ガンニー袋、各種機械等である

高雄港は天惠の地を占めてゐる事に親ひしその驚異的發展は已に臺業都市として立派に裏付けされ本島中南部に於ける生產並に消費を一手に引受ける市場のみならず帝國南方政策の據點として重要視せられるに至つた關係上今後の貿易上に大活躍は瞠目すべきものがある

光榮の陳守實君

恐懼感激する陳氏一家

臺北州會議員陳滿波氏の長男守毅君と二男守實君は學習院初等科に學び、守毅君は五年で賀陽宮章憲王殿下と御同級、また守實君は二年で皇太子殿下と御同級の光榮に浴して、本島人の子弟がこのやうに我が國で高貴な方々が學ばれる學校に御一しよに勉强してゐるのは臺灣六百萬島民のひとしく恐懼感激するところである、この間兄さんの守毅君から嚴父の滿波氏宛送られた手紙の一節

「明日（七日）午前十時より三時まで　殿下の御招待（賀陽宮御邸）にて昨日三浦さん方へわざく御言葉を下さいました、僕は殿下と御友達になりました、お父さんよろこんで下さい、僕の前で招待された人はいくらもない、僕はこれから一生懸命に勉强して偉い人になつて見せます」

（原文の儘）

と書いてあり、子供心にもこの光榮を如何に感謝したかを知る事が出來る、この感激でしたためた令息の手紙を讀んだ陳滿波氏は思はず光榮に感涙したとの事である（寫眞は右、守毅君、左、守實君）

蕃地開發の恩人

湯本氏三十五年の苦闘

新竹州竹南郡南庄紅毛館の蕃地に閉ち篭つて單身蕃害の危險に身をさらし民政施設と戰ひつつ自然相手の開墾事業に從ふこと三十五年不撓不屈の人、今の世にその名こそ

哲人　かあらず、只これ不屈そ頼ほしくも尊き湯本矢太郎氏の苦闘談は新春に贈る新體制御年玉の讀み物ともならう、南庄より更に東地へ八キロの紅毛館はかつての日和蘭人が足跡を伸して隘勇の警護に從事してゐた歷史の地でここに湯本氏が開墾の鍬を初めて入れたのが明治四十年未だ全くの暗黑世界であつた氏は靜岡縣阿部郡の產本年とつて六十二歲である蕃界の主今や新竹州蕃地開發の恩人となつてなほうむところを知らない、血と汗の氏の功績を次に偲ぶ事にしよう

明治三十五年六月氏は故鄕靜岡で兵役服務中新竹守備隊派遣となつて東部渡臺、翌七月の南庄事件には討伐隊となつて軍に從ふ等の事もあり翌年九月退

南庄　に駐屯してゐたがこれが湯本氏の紅毛館を知つたはじまりで當時弱冠二十二歲ながら鄕里では農業をやつてゐた關係から『この土地を捨てておくのは勿體ない、きつとものになるぞ』とすつかり惚れこんでしまつたものである、其の後日露戰役にも從つて明治三十九年には功により金鵄勳章を拜受、そして明治四十年に故鄕の仕事が一段落つくと同時にかつての開拓者の夢忘れられず遂に意を決してその年二月妻と四歲になつたばかりの令息とを引き連れて渡臺したと云ふ譯、先づ新竹廳に當時の家永廳長を訪ひ是非紅毛館で

農業　をやる事を許してくれと膝詰談判に及んだのであるが今と違つて創成期の當時だけに流石物に動ぜぬ廳長も突飛な出願ぢやわいと只啞然としてゐるばかり、然し氏の熱情遂にこれを動かしてそれではまあ山の巡査になれと其の場ですぐ採用に決定し隘勇第二區を預當しつつ翌年の四月迄勤務し辭表提出と同時に土地拂下げを出願して許可になるのも待ちきれぬやうにして待望の開墾事業に入つたのであるさてこれからが辛苦の途は始る、何せい雜木雜草茂るにまかせ栽培へともしれぬ大樹巨木は天を掩ふ

有樣　で何處から手をつけてよいかわからない狀態であつたが氏は努力と資本の不足を天の力によるべしとして雜木に片ッ端から鋸の目を入れて暴風雨を待ちこれを全部倒す事に成功したのでその後に甘藷を栽培、山坂越えて南庄部落迄運んでは米と交換して生計の途をたてた、實らぬ稻をつくること二、三年相思樹や杉の苗も植ゑた大正十一年新竹州で臺灣第一回感謝栗のこともあるやこれが栽培を命ぜられたので謹みて業に從ふうち蕃人の農務と教化の指導を痛感し二月再び巡査となつて理蕃事業に盡瘁昭和四年二月辭職して今日に至つてゐる

森林　栽培に專念する事とし加里山の麓を移轍して南庄を探勝の名所としたのも氏の功績でありまた感謝栗の光榮を永遠に記念するため率先立つて神社を建立し地名にちなんで大南神社と呼び奉りるるのも總て氏の力と云ふべきである。大南神社は未だ一般にひろく知られぬが、これはまた登山路、風景の妙は州下でも指を屈せらるるところである、氏の辛苦もさることながらここには未だ夫人の內助の功も見逃せない、二人の遺德をきくは目と頭をたれさせるものがある、

家庭　はとみれば長男誠君は渡臺直後出征昭和十四年に歸還し現在は臺北市の總督府檢查所に奉職中であり次男一見君また同様出征昭和十五年に歸還、三男實君は現役で今なほ戰野に活躍中であり合兄の家に養子にやつた令息も目下出征中と云ふ一家を擧げての軍人振ひできこと開拓者の辛苦が大和魂に通ずる事を知らさせられるのである庄協議會員で庄治にも力をつくした同氏、今は自然そのままを巧に利用した庭園をつくり大きな池等掘つて閑雅な生活を樂んでゐるが遠慮はさにあらず

南庄　は優良炭の埋藏を以て一躍鑛業界の表面におどり出たところである氏の樂隱は未だ消えずことであらう（寫眞上は大南神社今後の活躍舞臺を臨に描いてゐると湯本氏の家庭）

世紀の除夜　89

（禁上映）

北村小松作　都竹伸一畫

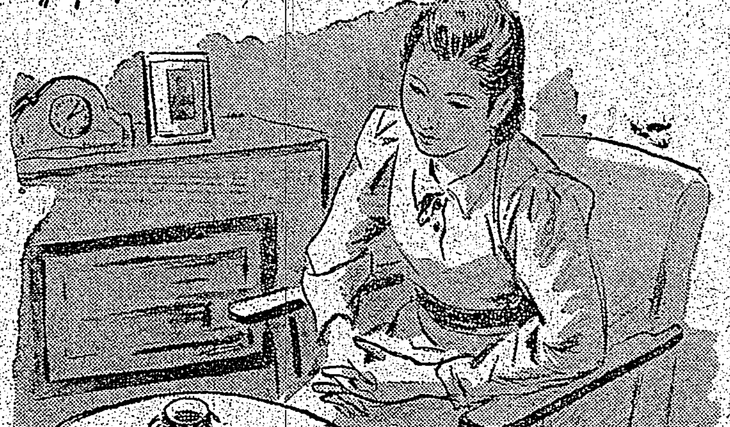
こころ（四）

「そりア僕だつて、時代の苦惱といふものが分らないことはないですよ。いや、それと感じられればこそ、僕は一層、わびしく、苦しい氣持になるのかも分らないのですよ。これがかういふ時代でなかつたら、僕は、外の世界の明るさとか樂しさとか、いふものにまぎれて行けたかも分らない。だけど僕は、時代の苛烈さが、そんな風な心のごまかしなど、許してくれないのを感じてゐるんです。僕は色んなことに後悔を感じる、色んなことに自信をもてなくなつて來た。……僕は、あなたの靑春を傷つけてまで迷ひ込んだ婚約生活といふものにたへがたい後悔を感じてゐるし、僕自身の靑春をつひやして通つて來た學校時代……その學校で身につけて來たと思つてゐた敎養といふものに自信がもてなくなつてしまつた。……僕たちが學校で……最高學府だといふところで敎はつて來た學問なんてものが、この時代に、何の役にたつだらう。……僕は、大學で、技術的なものは何一つ身につけて來てはゐない。……例へば、戰爭遂行といふ觀點から見たつて、僕等の敎養が、一體何の役にたつだらう……美の崇高さだとか、人類の自由だとか……だがそんなものが、現在の世界に何の役に立つだらう……」

「あなたも、保雄兄さんと同じやうな理想家なのね……」

美佐子が、保雄の言葉をさへぎるやうな調子で云つた。

「そこから行くと、あたし達女は男の方よりは、ずつと現實派なのかも分らないわ。……なぜ、あなたは、そんなことで自信をなくなさらなきやならないの、あたしは、さう思ふわ。あたしは、女だから、現實に卽して時代を見ようと思つてるんです。だのに、あなたは、理想に卽して時代を見てらつしやるから、そんなことをおつしやるんだわ。現實に卽して、理想を見ようとしていらつしやらないんだわ。あたし、敎養に無駄があらうとは思はないわ。……あなたは、象牙の塔にたてこもらうとなさるのよ。御自分は、さう御思ひ、ならないかも分らないけど……何の役にたつだらうなんてお考へになる考へ方の方こそ、何の役にも立ちや、ないと思ふわ。……この現實は、どんな苛烈な現實でも、結局は、あたし達がそこに足をつけて生きて行かなきやならない事實なんだとあたしは思ひますわ。あなたのおつしやる、人類の自由といふことから、この現實の世界を見たら、文字通りの意味とはまるで、反對なまるで嘘な世界かも分らないけど、この世界に卽して、人類の自由つて方を見たらいけど、あなた方のお力なら、新しいもつと現實的な考へ方が發見されるんだと思ひますわ。……あたしは、あの時から現實派になつちやつたのかも分りませんわ。戀愛つてものの理想的な考へ方にばかり立つてゐたあたしは、あの時の現實にたたきのめされて、そしてもう一度、生き返つた時から、こんな現實派になつたんですわね現實が土臺なんだと、あたしは思ひ始めました。あたし達の今生きてゐる現實は、この現實なんですわ。たとへ、戀がめでたく成就したつて同じやうに苦しい現實なんだと思ひますわ。あたしの常識とか、あなたと常識とかいふものでどうにも出來ない、現實だと思ひますわ。それを、あなたは、ことさらに、千世子さんや、あたしにむすびつけて、心のよりどころを見失はうとしてゐらしやるのぢやないか知ら……」



國策ノ
タメ
みやこ染デ
廢品衣服ヲ
染替ヘテ
役立テマセウ
品質
本位
家庭染料
みやこ染

企畫院調查官
鈴木嘉一著
隣組と常會
大增刷出來
常會運營の基礎知識
最も信用ある隣組指導者の爲の手引

著者の情熱
著者は國家總動員計畫立案の激務の傍、本書執筆の爲に蘊蓄を傾け、寒夜企畫院のバラツクに徹宵幾日、ひたすらなる情熱をこの一書に傾注したのであつた。大政翼贊臣道實踐の根幹は常會に在りとする著者の信念は全頁に溢れ、讀者をして思はず振ひ立たしむるものがある。

內容の懇切
然も內容は平易懇切到れり盡せり、資料を全國に求めて各種常會の實例を滿載し
▽隣組や常會とはどんなものか
▽常會の開き方はどうするか
▽常會の運營はどうするか
▽常會で相談することはなにか
▽隣組貯金の規約はどう作るか
▽隣組關係公官衙の掛はどこか
▽常會長の心得べき事はなにか
其他監督中央官廳の意圖から其組織、翼贊會との關係等隣組と常會についての一切が詳細に書れてゐる。

至廉の定價
印刷製本諸材料と工賃高騰の折柄、三百頁の冊子をこの低廉をもつて提供する所以は小社が時局の要望に應へ、出版奉公の徹意を盡さんとするに外ならぬ。果して、大政翼贊會其他各種常會指導者講習會等よりの大量註文殺到中！
賣切レテモスグ出來ル
30万部普及運動開始
全國書店百貨店にてお求めあれ（賣切の時は振替郵便で發行所へ）
規格B6判三百頁　八十五錢　送料十五錢
發行所　東京市神田區錦町一丁目五　代表電話神田二二二六番　振替口座東京六二二九四番
誠文堂新光社

鐵か肉か
凄い賣行
噫！ノモンハン草原の大苦戰
近代戰の實相を描寫して戰慄悲壯を極む
諸君、讀んだか、この凄愴な大死鬪記を！諸君の隣組でも回覽することにしては、どうか。
軍提供の寫眞も二十葉から收められてゐる。小說の型で書かれてゐるので新春の讀物として好適！
日活でいよいよ映畫化着手
山中峯太郎著
全國書店へ三百册版配本
四六判三百餘頁　口繪寫眞二十葉
定價一圓五十錢　送料廿一錢
賣切れ中のところ☆☆大增刷出來
東京・神田・錦町一丁目五　振替口座東京六二二九四番
誠文堂新光社

戰場より寄せられたる下山役三軍曹の手記
兜緒の萬歲
陣中涙の友情　戰死者の萬歲
加藤武雄
▲遺族秘話　新しき家族　關郁二郎
▲科學防諜　怪力電波　笹本寅
▲忠節物語　覇道王道　山中峯太郎
▲現地報道　重慶から來た者　鈴木彥次郎
▲銃後固し　伍長の家
▲南方進出　民族凱旋曲　海野十三
▲幕末尊皇　日本の黎明　海音寺潮五郎
▲日支新條約に依つて事變はどう處理されるか　丸山幹治
▲綾波號の南太平洋循環飛行同乘記　永井皓
▲滿洲の沃野は諸君を待つてゐる　飯島連次郎
▲新しき盟邦ハンガリー　井上庚二郎
素人演劇脚本集
▲明朗劇　軍鷄
▲純情劇　贈り物
▲家庭劇　シヤツ
▲太平洋軍備一覽圖
▲傷痍軍人の輝く職場を觀る
銃後美談
①戰地想へば
②兄弟藝術聯盟
③隣組佛心
富士
二月號出づ!!
健全明朗な戰地、銃後家庭の慰安雜誌!!
▲臣道實踐　軍神杉本中佐　山岡莊八
▲大陸の礎　拓士の妻　竹田敏彥
▲明治黎明　時代の尖兵　大林清
▲戰傑冒險　ビルマ公路　我妻大陸
新體制下の相撲を語る　笠置山
▲春場所の優勝者は誰か？　好取組勝負豫想
▲歸還兵の就職はどうすればよいか　大口喜六
▲國民更生金庫とはどういふものか
◎臣道完遂乞食竹村　◎新作落語　相撲見物
▲汪精衞自叙傳　安藤德器
▲西園寺公望とカイゼル　木村毅
▲銃後日記　隣組問答の卷　船吹先生　森健二
定價七十錢
東京　大日本雄辯會講談社